

関東圏専門工事業担い手確保・ 育成推進協議会（夢協）の取り組み について

【資料1～9】

～若者が夢と希望を描ける専門工事業を目指して～

建設産業専門団体関東地区連合会

資料 1～8

- 民間発注団体・元請団体への訪問要請の報告について（資料1）
- 出前講座の報告について・・・・・・・・・・・・・・・・（資料2）
- 建設労働者緊急育成支援事業の報告について・・・・（資料3）
- 専門工事業の処遇改善策について・・・・・・・・・・・・（資料4）
- 若者合宿・職長講習会の検討状況について・・・・・・（資料5）
- キャリアプランの提示（機械土工編）（案）・・・・・・（資料6）
- 建設関係認定職業訓練校現状調査・・・・・・・・・・・・（資料7）
- 今後の新たな事業活動について・・・・・・・・・・・・・・（資料8）
- 今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料9）

民間発注者団体、元請団体への訪問要請の報告について……資料1

①民間発注者団体・元請団体に対する要請活動

建設産業は受注産業であるが故、専門工事業者が抱える技能労働者の処遇改善のためには、まずは発注者と元請に理解してもらわなければならない。

このため、夢協では、民間発注者が多く加盟する団体と元請の立場となるゼネコンが加盟する団体に対して、技能労働者の処遇改善に必要な項目を整理して、各団体の長あての要望書を訪問して提出するとともに、可能な団体においては、事務局長等に対して専門工事業の実情について説明し、更には意見交換を行った。

○要請日時 平成27年12月3日(木)9:30~15:00

○記者発表 " 15:30

○訪問団体

民間発注者団体

- ①(一社)不動産協会
- ②(一社)日本建築士事務所協会連合会
- ③(公社)日本建築積算協会
- ④(公社)日本建築士会連合会
- ⑤(一社)住宅生産団体連合会

元請団体

- ①(一社)日本建設業連合会
- ②(一社)全国建設業協会
- ③(一社)全国中小建設業協会

○訪問者

- ・夢協会長
- ・夢協副会長
- ・関東建専連 常務理事 他

○提出書類

要望書、夢協設立趣意書・名簿、関東建専連名簿等

H27.12.4 建設通信新聞

建設産業専門団体関東地区連合会(関東建専連)向井敏雄会長(左)の「関東建専連(工事業担い手確保・育成推進協議会)」(通称・Y.U.M.E・K.Y.O.、夢協)は3日、民間発注者団体、総合工事業団体に対し適正な工期・賃金水準などの要望活動を実施した。今回の団体訪問で向井会長らは「ものづくりの担い手である技能労働者が少なくならないことへの危機感を共有し、人材の確保・育成に建設業界一体となった取り組みを促している」とコメントした。この日は、



夢協、関東建専連の向井会長(左)

向井会長は、東京都千代田区のホテルグランドパレスで会見し「各団体とも担い手確保を非常に深く認識している。業種の垣根なく、一体となって取り組んでいける」と手応えを口にした。その上で「適正な工期の確保は、発注者の理解がなければ達成し得ない。他産業以上の労働条件を提示できなければ若年者は集まらない」と強い危機意識を持って引き続き活動に取り組む姿勢を示した。

岸田敏弘副会長は、「担い手確保という目標に一致団結して取り組んでいく」とし、武居宏副会長は「目標から具体的なビジョンに形を移し、建設業に勤めて良かったと思えるようにしたい」とそれぞれコメントした。

▽日本建設業連合会▽全国建設業協会▽全国中小建設業協会▽日本建築士事務所協会連合会▽日本建築積算協会▽日本建築士会連合会▽住宅生産団体連合会

夢協 民間・元請団体に要望 適正工期、賃金確保

建設業協会▽全国中小建設業協会▽不動産協会▽日本建築士事務所協会連合会▽日本建築積算協会▽日本建築士会連合会▽住宅生産団体連合会

夢協は、国土交通省関東地区整備局管内で、専門工事業団体が担い手確保・育成を効果的に推進するため、関東建専連のほか、全国建設業教育訓練協会富士教育訓練センター、高校など教育機関、建設業振興基金などが連携して活動している。オプザバーとして国土交通省、関東整備局、厚生労働省、埼玉労働局、建設産業専門団体連合会が参加している。

夢協は、国土交通省関東地区整備局管内で、専門工事業団体が担い手確保・育成を効果的に推進するため、関東建専連のほか、全国建設業教育訓練協会富士教育訓練センター、高校など教育機関、建設業振興基金などが連携して活動している。オプザバーとして国土交通省、関東整備局、厚生労働省、埼玉労働局、建設産業専門団体連合会が参加している。

○民間発注者団体・元請団体に対して要請した文書

民間発注者団体 へて

要 望 書

建設産業は、これまでにダンピング受注、若年者の入職の減少等により、持続可能性が危ぶまれる事態となっており、今後とも持続可能となるには、何より発注者のご理解とご協力が必要です。

建設業で働く技能労働者数は、直近のピークである平成9年に455万人でありましたが、長引く建設不況のなかで平成22年には331万人に減少し、それ以降人手不足がつづいております。また、就業者は55才以上が34%、29才以下が11%と高齢化の進行と若年者不足の加速化に加え、次世代への技能の継承が大きな課題になっております。この機会に、建設産業、とりわけ現場で直接施工に携わる専門工事業がこれまで社会資本整備の充実等を図ってきた実績をご理解いただくとともに、貴団体の会員企業による発注におかれましては、下記の点にご配慮いただきますようお願いいたします。

記

- 社会保険の原資となる法定福利費の適正な計上
- 施工歩掛等に基づいた技能者の適正な賃金水準の確保
- 行き過ぎた重層下請の回避（日建連は原則2次以内を目標）
- 短工期とならないような余裕を持った工期（休日の確保）
- 安全を確保するために必要な経費の計上
- 設計の合理化（適正な工程を確保し、適正な予算で積算）
- 発注者の責務を明確にし、意志決定の迅速化

平成27年12月3日
関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会
会長 向井敏雄

元請団体 へて

要 望 書

平素より、専門工事業界に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。専門工事業界は、これまでにダンピング受注、若年者の入職の減少等により、持続可能性が危ぶまれる事態となっており、今後とも持続可能となるには、発注者とともに発注者より直接工事を請け負う元請で構成される総合工事業界のご理解とご協力も必要です。

ご周知のとおり、平成9年に455万人でありました建設技能労働者数は、長引く建設不況のなかで平成22年には331万人に減少し、現在も様々な現場で人手不足がつづいております。また就業者は55才以上が34%、29才以下が11%と高齢化の進行と若年者不足の加速化に加え、次世代への技能の継承が大きな課題になっております。この機会に、共に社会資本整備の充実等を担ってきた専門工事業界の実情について改めてご理解をいただくとともに、貴団体の会員企業による下請発注におかれましては、下記の点にご配慮いただきますようお願いいたします。

記

- ダンピング受注の回避及びそのしわ寄せの回避
- 重層下請を回避するため、技能者や資機材を抱え、見積能力及び施工能力のある専門工事業者への発注
- 社会保険の原資となる法定福利費の適正な計上
- 施工歩掛等に基づいた現場作業員や技能者の適正な賃金水準の確保
- 短工期とならないような余裕を持った工期により、休日の確保
- 安全を確保するために必要な経費の計上。
- 元請下請契約の適正化を図る。

平成27年12月3日
関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会
会長 向井敏雄

出前講座の報告について……資料2

①小中学校等への出前講座について

これまで、各地域の様々な建設業団体において、工業高校生をターゲットとした現場見学会が開催されてきた。中部地方整備局では一歩進んで「旬な現場」として、一般の方への現場見学会も推進してきたところである。

このように建設産業への理解は一定程度進んできたものの、工業高校の進路担当教師等などからヒアリングしたところ、工業高校へ進学する時点で既に生徒自身が方向性を決めていることが多いこと、工業高校では「技術者」を目指している生徒が多く、建設労働者の大部分を占める建設技能者を目指している生徒は少ないことなどが解っている。

こういったことから、夢協では、まずは生徒が自分の方向性を固める小中学校への魅力発信が必要と考え、その方法や内容について検討してきた。

○平成28年度より、墨田区内の小中学校に出前講座を実施していくための準備(ちらし「ネットワークニュース」の作成)を行った。(別紙1)

小中学校への出前講座の効果的実施について文部科学省に相談したところ、「すみだ教育研究所」を紹介され、来年度、墨田区の小中学校が使用する「学校支援ネットワークニュース」として出前講座シリーズの中の1つとして掲載していただくこととなった。
※内容については次ページのとおり。

○出前講座内容の一部として実施していくこととしている「行政によるインフラ教育」については、さいたま市新和小学校において、試行を行った。(別紙2)

建設産業広報推進協議会の工業高校キャラバンの一環行事として、関東地方整備局による「インフラ教育」の出前講座を実施。

- ・H27.10.26 さいたま市新和小中学校(日光への修学旅行を題材にした、道路、砂防堰堤等の説明など)
- ・H27.10.31 さいたま市春里中学校(東日本大震災における建設業の活躍等についてパネルの説明)

○この他、以下について実施・実施予定

- ・H27.12.3 緊急育成支援事業実施中の訓練生に対して中部横断道路建設の現場見学会の開催
- ・H28. 3.4 神奈川県立磯子工業高校にて実施予定

墨田区内で実施する予定の出前講座内容(別紙1)

学校支援ネットワークニュース(墨田区教育委員会)

「身近な公共物(道路・堤防など)について知ろう」～修学旅行・遠足を活用して～「建設業の仕事について知ろう」

社会 総合(キャリア) 地域理解

(1)ねらい

- ①普段歩いている道路、堤防などについて、興味や関心を持ち、それらを作る仕事に関わっている人々の活躍や技術・技能のすばらしさについて考えられるようにする。
- ②道路や堤防等のインフラは、特に都市部に住んでいると、あって当たり前であるが、それらが自分たちの生活を支えていることを知り、いかに防災に寄与しているか、災害が起こった時の建設業の活躍について学ぶ。
- ③修学旅行等見学する日本の伝統的な寺社等の建築物に活用されている建築技術・技能等の見どころと、当該建造物が建造された背景や歴史、慣習等を学ぶ。
- ④修学旅行や遠足の際、その地域のインフラを見て、その役割について考える。
- ⑤地域を守る仕事の意義を学び、自分の将来について考えるきっかけとする。

(2)対象 ・小学3年～中学3年

(3)講師 関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会(専門工事業の業界関係者、国土交通省の担当者他)

(4)形式 ・所要時間2単位時間(土曜授業可)
(1単位で座学、もう1単位で技術・技能の紹介を想定)
・クラス単位で行いますが、複数クラス合同も可。
・ご要望に合わせることはできます。

(5)内容

◆インフラの説明と建設業の技術・技能の紹介を考えていますが、時間や内容についてはご相談いただければ対応できます。ただし、修学旅行や遠足を活用した後に実施する場合には、旅行前に早めにご相談いただきますようお願いいたします。

(座学関係)

- ①高速道路、身近な道路の役割
- ②みんなを守る堤防について
- ③「防災」について考えよう
- ④わたしたちの町を守る仕事
(技術・技能の紹介)
- ①建設機械シュミレータ、建設機械ラジコン機を使用した模擬作業
- ②ドローン、GPSを使用した測量機等による測量作業及び寺社等の3D動画閲覧
- ③その他
 - ・鉄筋組み立ての技
 - ・左官によるこて塗り

(6)費用

公益法人による社会貢献活動として実施するため、経費はかかりません。

事後に、生徒からの感想と先生からのご指摘等を簡単にまとめてご提出いただけたら助かります。

(7)申し込み

実施日2ヶ月前くらいまで⇒学校支援ネットワーク本部へ送付
※修学旅行・遠足を活用する場合は、旅行の1ヶ月前くらいまで

行政における「インフラ教育」について(別紙2)

さいたま市立新和小学校生徒に課した「日光修学旅行における宿題」

宿題1 日光で見てきてほしいもの・考えてきてほしいこと

①東北自動車道・日光宇都宮道路・いろは坂

東北自動車道、日光宇都宮道路、いろは坂をバスで通ってみて、これらの道路が私たちの社会にどのように役立っているのか、考えてみよう。

建設業で働く人は、みんなの街や暮らしを守るために頑張っています。

②男体山

第一いろは坂の近くに小さなダムが沢山作られています。
この小さなダムの役割について考えてみよう。



③華厳の滝

華厳の滝のすぐ右側の崖は工事で修理されています。なぜ修理されたのか、考えてみよう。



宿題2 考えておいてほしいこと

修学旅行とは直接の関係はありませんが、お隣の茨城県では、9月10日に大きな洪水が発生しました。

こうした**災害が発生した時に活躍する職業**があります。それはどのような職業なのか考えてみましょう。

行政における「インフラ教育」について(別紙2)

さいたま市立新和小学校生徒に課した「日光修学旅行における宿題」の答え合わせ

宿題1 日光で見てきてほしいもの・考えてきてほしいこと

①東北自動車道・日光宇都宮道路・いろは坂

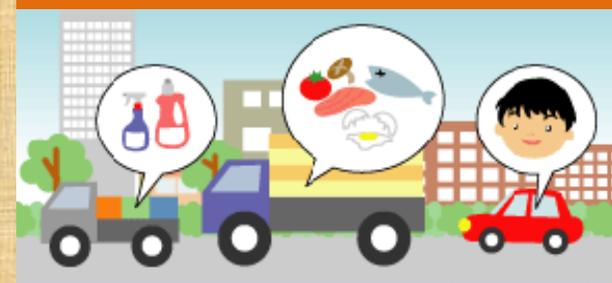
◆ **まず、東北自動車道や日光宇都宮道路といった「高速道路の役割」について考えてみよう。**

○高速道路をトラックがたくさん通っていたのを見ましたか。いろいろな「もの」を運んでいるのです。

食料品、日用品、工業製品など、私たちの暮らしに必要なものばかりです。まちに住んでいても新鮮な野菜が食べられるのは、高速道路のおかげでもあるのです。

さらに、いろいろな産業が全国で活動していくのにはなくてはならないものとなっています。

◆ 「ひと」や「もの」を運ぶ



○バスもたくさん走っていませんでしたか。たくさんの「ひと」も運んでいるのです。

新幹線などの鉄道だけでなく、各都市の間をバスが「ひと」を運んでいます。また「観光」をするため、国内外からの観光客を運んでいます。

高速道路によって、空港や港湾へも行きやすくなっています。



○もし、災害などが起こったら、重要な役割を果たすことになります。

高速道路は、災害の影響を受けにくい強いつくりになっていますので、被災地に支援物資を届けたり、遠くの病院であっても患者さんを運ぶこともできます。

◆ 災害(さいがい)から町を守る



行政における「インフラ教育」について(別紙2)

さいたま市立新和小学校生徒に課した「日光修学旅行における宿題」の答え合わせ

◆ 次に、いろは坂も含め、「身近な道路」について考えてみよう。

- 水道・電気・ガス・電話線・上下水道などを通すために、道路の下や上の空間を利用しています。
電信柱はよく見かけるとは思いますが、道路の下には、こういったものを通すための空間があるのです。

◆ 水や電気、ガスなどを通す



- まちの形をつくり、住みよいまちづくりに役立ちます。
普段何気なく通っている「道路」ですが、建物と建物の間に空間をつくり風や光を通して、街路樹などによって緑のうるおいをもたらしてくれます。
また、道路沿いにいろいろなお店などができて、まちの形を作っていくことになります。

◆ 住みやすい町をつくる



- 特に「いろは坂」は「観光」として、また、地方部では、
地域と地域をつなぐ重要な「いのちの道」となります。
去年関東地域で豪雪があったことは覚えていますか。
そのとき、道路が通行できなくなり、何日も食料が届かなかった集落がありました。

◆ 紅葉のいろは坂



行政における「インフラ教育」について(別紙2)

さいたま市立新和小学校生徒に課した「日光修学旅行における宿題」の答え合わせ

②男体山の 砂防堰堤 (さぼうえんてい) ・ ・ ・ 小さなダム役割

◆ 山の中腹あたりに小さなダム、砂防堰堤があったのが分かりましたか。山間部では、予想をはるかに超える雨が降ったりすると「土石流」や「地すべり」という重大な自然災害を引き起こすことがあります。去年広島でこれによってたくさんの方が亡くなりました。

○ 人々の生命や財産、くらしをまもります。

山から流れてくる土石流をせき止め、山の麓に暮らす人々の命、家、田畑などをまもっています。

日光では、日光市内を含め多くの集落が砂防堰堤でまもられています。

○ 国土や自然をまもります。

地域の山、川、森林といった地形とともに自然や動植物もこの砂防堰堤でまもっています。

◆ 砂防堰堤は「土石流」を防ぎます



砂防堰堤が無いと



男体山の風景美を維持しながら工事をしています。

行政における「インフラ教育」について(別紙2)

さいたま市立新和小学校生徒に課した「日光修学旅行における宿題」の答え合わせ

宿題2 考えておいてほしいこと

- 災害とは、大きさにもよりますが、そこに暮らす人々の生命、財産を奪いかねない重大な事件です。そういったことが発生した時に活躍する職業があります。
先月9月に茨城県で発生した洪水の状況や復旧については、テレビなどの報道で見たと思いますが、重要なことが伝わっていないと考え、皆さんに考えてもらおうと思い、宿題にしてみました。
- まずは、報道で活躍が伝えられた、消防士、警察官、自衛隊です。逃げ遅れた方たちをボートやヘリコプターなどで救助していました。
- 対策などを行った常総市役所、茨城県、国土交通省です。市役所の建物が被災したこともあり、市役所では当初対策を進めていくことがたいへんでしたが、各行政機関が連携して復旧対応を行いました。
国土交通省では、全国から排水ポンプ車66台を集めて排水作業を行うとともに、堤防の復旧に努めました。また、海上保安庁もヘリコプターによる救出を行いました。
- そして、全国から集まっていた「災害ボランティア」の方たちです。

◆ 鬼怒川の洪水の様子



◆ 国土交通省による排水作業



◆ 現地で指示を出す国土交通大臣



行政における「インフラ教育」について(別紙2)

さいたま市立新和小学校生徒に課した「日光修学旅行における宿題」の答え合わせ

■ ここで絶対見落としてもらっては困るのが「建設業の人たち」です。

堤防の復旧には、二週間休まず、地元の建設業の人たちが、がんばってくれました。さらに、溝などにたまったドロを取り除き、道路の清掃もしてくれました。

実は、建設業は地元になくてはならない大切な産業なのです。

◆ 建設業の人たちによる
夜を徹した堤防の応急復旧工事



◆ 建設業の人たちによる応急対策



◆ 建設業の人たちによる
ドロの撤去作業



◆ 建設業の人たちによる
堤防の応急復旧工事



【最後に】

宿題1でお話しした道路、砂防堰堤、華厳の滝の修理なども全て建設業の仕事です。
みんなのまちでも暮らしを支えているのは建設業です。
このことを忘れないでください。

さいたま市新和小学校への出前講座を終えて

修学旅行で訪問した「日光」のインフラの重要性について、宿題を出して後日回答・説明をするという方法は、生徒にとって印象が深くなるということが分かった。今後の出前講座については、修学旅行・遠足を題材にして訪問先のインフラについて説明する方法は非常に良いと感じた。また、内容の難易度に懸念があったが、生徒の理解と評価は高かったため、小中学校のスパンで考えると、今回の小6は中間に当たるので、今回のレベルを標準とし、小3レベルの簡易版も作成しておく必要があると感じた。

特に小学生では「実験で学ぶ土砂災害」のように、体験型、参加型の講座にした方が良いということがわかった。平成28年度からの本格実施に備えたい。

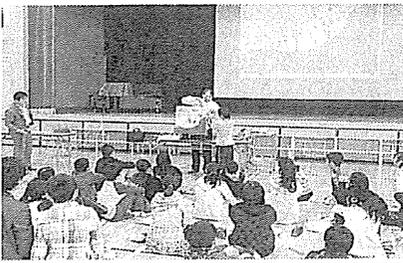
【小中学校キャラバン 関連記事】 建設通信新聞 H27.10.27 掲載

【アンケート結果について(教師編)】

- ①出前講座の満足度 → 概ね満足(2番目評価/5択のうち)
- ②児童の反応は → 好評(2番目評価/5択のうち)
- ③一番印象に残ったこと → 被災地に一番最初に入っているのが建設業者であったこと。
- ④改善点・意見等について
 - ・小学生には体験型、参加型のものがよい。
 - ・建設業の取組により、世の中がどれくらい便利になったかクローズアップさせるのも良い。

【アンケート結果について(児童編)】

- ①建設業の役割・仕事は知っていたか→知らなかった(73%)
- ②講座で印象に残ったこと→見えないところで活躍している産業だ、土砂災害がおきる理由がわかった、いろいろな工事が災害防止に役立っている・・・など
- ③建設業への興味が高まったか→高まった(81%)
- ④もっと話が聞きたいか→聞きたい(88%)
- ⑤主な感想
 - ・建設業は建てるだけでなく、直したり人の命も守っている。
 - ・土砂災害のメカニズムがよくわかった。
 - ・東京オリンピックのスタジアムも建設業が活躍するんですね。
 - ・テレビの取材が入れないところで仕事されていることについては驚きでした。他



国土交通省や建設業団体などで組織する「建設産業戦略的広報推進協議会」(事務局・建設業振興基金)は26日、さいたま市立新和小学校(6年生)を訪問し、子どもたちに建設業の魅力や役割を直接語り掛ける「キャラバン」を小学校で初めて実施した。まず建設業振興基金経営基盤整備支援センター人材育成支援課の松縄修主任が建設業の仕事や役割などについて、サッカーの監督、選手と同じようにそれぞれ役割があることや災害時に真っ先に現場に行き、道の整備などの作業を行っていることなどを説明し、子どもたちは熱心に聞き入っていた。

続いて関東地方整備局建設部の下岡壽建設産業調整官が、生徒の修学旅行(日光)の体験を踏まえ、高速度路や小さなダム(砂防堰堤)、が

最後に生徒から「模型の実験が印象に残った。さまざまの対策などがあって勉強になった」や「普段考えていないことを考えるきっかけになった」といった感想が示された。

けが修理されている様子を題材に、それぞれのような役割を担っているかを生徒に発問し、それを補足する形で関東・東北豪雨災害での活躍などを含め、建設業の役割を説明し、理解を促した。座学に続いて土木学会の藤井俊逸氏が、学会が作成した「実験で学ぶ土砂災害」に沿って、土砂災害のメカニズムや対策などを模型を使って生徒とともに実演し写真。水がしみこんだ土砂について「ふんばる力」といって言い回しなどで分かりやすく説明し、生徒の関心を誘った。

建設産業戦略的広報推進協議会

小学校で初キャラバン

模型使い土砂災害説明

夢協出前講座に関する意向調査

(6) 夢協出前講座に関する意向調査

一 小・中学校での出前講座に前向きな回答一

ここまで見てきたように、建設専門工事業でも出前講座の実績が増えており、開催に当たってさまざまな制度を活用することも可能になっている。

夢協としても、建設専門工事業への理解を深め、入職を促進するために、夢協をはじめ、構成団体・企業による出前講座を広く開催していくことが目標となる。

そこで本調査では、開催に向けた具体的な検討の参考とするため、建設産業専門団体関東地区連合会の会員団体への意向調査を行った。

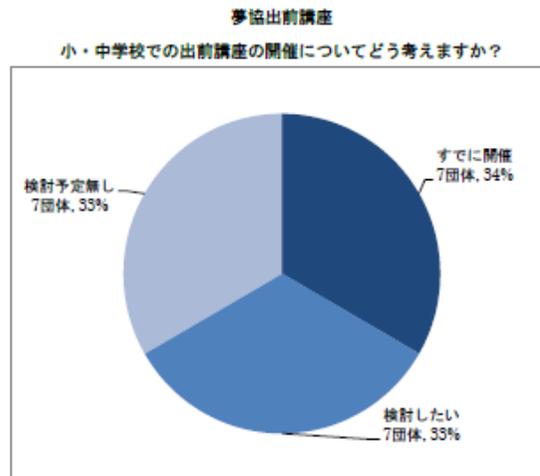
調査では、夢協が目標としている小・中学校での出前講座の開催に絞り、これまでの実績や今後の開催意向、さらに現在夢協で検討している墨田区学校支援ネットワーク事業を活用した開催手法などについて聞いた。

調査結果によると、すでに出前講座を実施している団体は、回答のあった 21 団体のうち 10 団体 (48%) で、さらに小学校と中学校での開催実績がある団体はそれぞれ 6 団体だった。

また、今後小・中学校で出前講座を開催する意向があるかどうかを聞いた質問では、すでに開催していると答えた 7 団体 (33%) に加え、「今後検討したい」が 7 団体 (33%) となっており、全体の 3 分の 2 が小・中学校での出前講座開催に前向きな考えを持っていることが分かった。

開催方法については、「団体が独自に企画・開催したい」が最も多く、これに「マイスター制度等を利用」が続いた。

また、夢協では「墨田区学校支援ネットワーク事業」を活用した出前講座の開催を検討しており、今回の意向調査でも、事業の概要を示した上で興味があるかどうかを質問。8 団体 (38%) が「興味がある」と答えた。



アンケート結果の概要は次の通り。

①調査対象

建設産業専門団体関東地区連合会の会員団体

②調査期間

2015 年 12 月 28 日～2016 年 1 月 13 日

③調査方法

発送/FAX 回収/FAX

④回答数

21 件

※調査は「夢協（若者合宿、親方講習会、出前講座）に関する意向調査」として実施した。若者合宿、親方講習会の結果は後述。

【出前講座について】

■現在出前講座を実施していますか（団体数、以下同じ）

実施している	実施していない
10	11

■実施している場合、実施対象はどこですか（複数回答）

小学校	中学校	高校	高専	短大	大学	その他
6	6	8	2	0	2	0

■実施している場合、どのような方法で開催していますか（複数回答）

独自に企画・開催している	3
ものづくりマイスター制度を利用	8
地域イベントなどに協力・参加	6
その他	0

【小・中学校での出前講座について】

■小・中学校での出前講座の開催についてどう考えますか

すでに開催している	今後検討したい	いまのところ検討する予定は無い
7	7	7

夢協出前講座に関する意向調査

■「すでに開催している」「今後検討したい」とした場合、どのような方法で開催したいですか

独自に企画・開催	9
ものづくりマイスター制度を利用	8
地域イベントなどに協力・参加	7
墨田区学校支援ネットワーク事業の活用	1
その他	0

■「すでに開催している」「今後検討したい」とした場合、想定される講座のプログラムなどがありますか

ある(すでに実施済みも含む)	現状はないが想定できる	ない
6	6	2

■実施・想定できる作業・体験内容（プログラム）などを教えてください

- ・建設機械シミュレータや建設機械ラジコン機を使用した模擬作業。ドローン、GPSを使用した測量機等による測量作業と寺社等の3D動画閲覧（機械土工）
- ・鏝絵、泥団子製作、壁塗り体験、漆喰塗り体験、手形作り、色モルタルでの擬木、擬石製作など（左官）
- ・ミニ門松づくり、ミニ庭園づくり（造園）
- ・タイル張り体験（タイル）
- ・現場見学会（アンカー）
- ・動画コンテンツによる職業紹介（型枠）

【墨田区学校支援ネットワーク事業について】

※夢協では出前講座の開催方法として「墨田区学校支援ネットワーク事業」の活用を検討しており、同事業の活用について質問。

■墨田区学校支援ネットワーク事業に興味がありますか

興味がある	どちらともいえない	興味がない
8	6	4

建設労働者緊急育成支援事業の報告について……資料3

建設労働者緊急育成支援事業についての報告

1 事業の内容

平成27年度において、厚生労働省から一般財団法人建設業振興基金が受託し、全国17カ所(中央拠点1カ所、地方拠点16カ所)に拠点を設置して、以下の事業を実施しています。

① 募集

現在、定職に就いていない方、転職を考えている方、学校を卒業してまだ就職が決まっていない方等が募集の対象です。

② 職業訓練

建設業で必要とされる基礎的な知識・技能の修得や、資格取得のための職業訓練を実施しています。

③ 職業斡旋

職業訓練終了後、本人の希望を確認の上、建設企業への就職を斡旋しています。

2 本事業の数値目標

平成27年度は、募集600名、予算額約6億円
(5年間で、5,000名募集(事業期間5年の時限措置))

3 本事業の特徴

- ① 各地の建設業団体が核となり、民間職業訓練校、教育機関や行政機関等と連携し、既存施設も活用して職業訓練を実施しています。
- ② 全国の公共職業訓練施設では一部を除いて実施されなくなっている技能労働者(土木・建築工事における「とび」「鉄筋」「型枠」「設備」「仕上」等)を養成するためのコースを主として実施しています。
- ③ 職業訓練、資格取得等に係る費用は無料です。

4 平成27年度の実績

(1) 17カ所の拠点

全国の17カ所の拠点において、延べ46訓練コースで募集678名(平成28年1月6日現在)を実施し、平成27年12月18日現在の申込状況は274名、受講状況は160名です。

(2) 建設産業専門団体関東地区連合会

建設産業専門団体関東地区連合会においては、次の2訓練コースを実施

① 「とび・土工コース」(平成27年11月2日～12月24日)

- ・北は福島～南は福岡からの募集があり、受講者8名で実施(途中退校1名)
- ・年齢構成は18歳～49歳(20歳代が6名)
- ・4人が建設業に就職(平成28年1月8日現在)

② 「鉄筋・多能工コース」(平成28年2月1日～3月24日) 募集中

(3) 一般社団法人日本機械土工協会において、次の2つの訓練コースを実施

① 「建設機械オペレーターコース」(平成27年11月2日～12月24日)

- ・北は宮城～南は福岡からの応募があり、受講者20名で実施
- ・年齢構成は20代が3名、30代が6名、40代が10名、50代が1名
- ・1人が建設業に就職(平成28年1月8日現在)

② 「建設機械オペレーターコース」(平成28年2月1日～3月24日)

- 募集中
- ・応募者数15人(平成28年1月13日現在)

5 平成28年度の予定

(1) 厚生労働省

厚生労働省では、平成28年度予算において、募集1,000名、予算額約9億円を要求中です。予算成立後に建設労働者緊急育成支援事業の受託先を公募します。

(2) 建設産業専門団体関東地区連合会

建設産業専門団体関東地区連合会においては、年間4回の訓練コースを予定(開始月:5月・8月・11月・2月。訓練期間:2ヶ月程度)しています。

また、担い手が不足している職種である「とび工」「鉄筋工」「内装工」「配管工」「電工」「型枠工」などを検討しています。

建設労働者緊急育成支援事業の報告について

(3) 一般社団法人日本基礎建設協会／一般社団法人日本機械土工協会
一般社団法人日本基礎建設協会／一般社団法人日本機械土工協会
において、年間4回の訓練コースを予定(開始月:5月・8月・11月・2月
訓練期間:2ヶ月程度)しています。

また、職種は「建設機械オペレーターコース(土木又は基礎)」を予定
しています。

平成28年1月

「建設労働者緊急育成支援事業」における 職業訓練生の募集開始について

(一財)建設業振興基金

1 事業概要

平成27年度において、標記事業を厚生労働省から受託した(一財)
建設業振興基金が、全国17ヵ所(中央拠点1ヵ所、地方拠点16ヵ所) ➤
に拠点を設置して、以下の業務を実施

①募集

対象者として離転職者、新卒者、未就職卒業者や定時制高校生
等を募集、選考。

②職業訓練

建設業で必要とされる基礎的な知識・技能の修得や、資格取得の
ための職業訓練を実施。

③職業斡旋

職業訓練修了後、本人の希望を確認の上、就職先をあっせん。

2 本事業の数値目標

5年間で5,000名を募集(事業期間5年の時限措置)
(初年度(H27年度)は、募集600名、予算額約6億円)

3 本事業の特徴

➤ 各地の建設業団体が核となり、民間職業訓練校、教育機関、行政
機関等と連携し、既存施設も活用して職業訓練を実施。

➤ 全国の公共職業訓練施設では一部を除いて実施されなくなっている
野丁場の技能者(※)を養成するためのコースを主として実施。

(※)土木・建築工事における「とび」「鉄筋」「設備」「仕上」等の技能労働者
(いわゆる町場といわれる大工を除く)

➤ 職業訓練、資格取得等に係る費用は無料。

➤ 建設業で必要とされる基礎的な知識・技能の修得や、資格取得の
ための職業訓練を実施することから、未経験者でも参加可能。

➤ 職業訓練は、合宿方式(宿泊費無料、訓練場所までの旅費支給)
通学方式の2つの方式により実施。

➤ 訓練修了後は、各建設業団体、ハローワークと連携の上、希望す
る建設企業への就職をあっせん。

➤ 申込方法として、申込書をFAX・郵送の他、WEBからも可能。
ホームページ: <http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/>

〈お問い合わせ〉
(一財)建設業振興基金
経営基盤整備支援センター
担当: 井上、由井、菊池、山下
TEL:03-5473-4589

●中央・地方拠点(全17拠点)

拠点	主な訓練拠地	対象職種	募集中のコース		募集を終了したコース		
			職業訓練期間	人数	職業訓練期間	人数	
中央拠点	(一財)建設業振興基金	(富士教育訓練センター)	重機オペレーター	27年11月5日～11月20日	12名程度	27年11月24日～12月9日	12名程度
			重機オペレーター	27年11月24日～12月9日	12名程度	27年12月6日～12月19日	12名程度
			重機オペレーター	27年12月6日～12月19日	12名程度	28年1月14日～1月29日	12名程度
			重機オペレーター	28年1月14日～1月29日	12名程度	28年1月26日～2月9日	12名程度
			躯体系技能者(建築)	28年1月14日～1月29日	12名程度	28年3月9日～3月25日	12名程度
			躯体系技能者(鉄筋)	27年11月24日～12月9日	12名程度	28年3月9日～3月25日	12名程度
			土木系技能者	28年3月9日～3月25日	12名程度	27年12月6日～12月19日	6名程度
			仕上系技能者(内装)	28年1月14日～1月29日	6名程度	28年2月1日～2月16日	15名程度
			仕上系技能者(内装)	28年2月1日～2月16日	15名程度	28年3月2日～3月18日	15名程度
			平屋系(約10ヶ所)	28年3月2日～3月18日	15名程度		
北海道	(一社)北海道建設業協会内	北海道	躯体系技能者	3月開講予定	20名程度		
東北	(一財)みやぎ建設総合センター内	宮城県(ポリテクセンター等)	躯体系技能者(建築・土木)	28年1月12日～1月30日	10名程度		
			躯体系技能者(建築・土木)	28年2月1日～2月20日	10名程度		
関東	全国基礎工業協同組合連合会内	東京都(連合会館等)	基礎抗作業員	27年11月11日～11月19日	10名程度		
			杭打ち機オペレーター(3t未満)	27年11月11日～11月19日	10名程度		
			杭打ち機オペレーター(3t未満+5t以上)	27年11月11日～11月28日	10名程度		
			基礎抗作業員	28年3月19日～3月31日	10名程度		
			杭打ち機オペレーター(3t未満)	28年3月19日～3月27日	10名程度		
	(一社)東京郡中小建設業協会内	東京都(郡中連等)	建設工事基礎	28年2月1日～2月5日 及び 28年3月19日～3月27日	4名程度		
			建設工事基礎	27年11月30日～12月16日	15名程度	28年3月15日～3月28日	15名程度
	(一社)神奈川県建設業協会内	神奈川県(建設業協会等)	躯体系技能者(型枠・鉄筋)	27年11月9日～12月1日	15名程度		
	(一社)全国クレーン建設業協会 神奈川支部内	神奈川県(教育センター等)	クレーンオペレーター(ビギナー/マスター)	27年10月1日～11月20日	10名程度		
			クレーンオペレーター(ビギナー/マスター)	28年2月3日～3月13日	24名程度		
(一社)日本基礎建設協会 / (一社)日本機械土工協内	静岡県(静岡県建設学校)	建設機械オペレーター(土工)	27年11月2日～12月24日	15名程度			
		建設機械オペレーター(土工)	28年2月1日～3月24日	15名程度			
建設産業専門団体関東地区連合会内	静岡県(静岡県建設学校)	躯体系技能者(とび土工)	27年11月2日～12月24日	15名程度			
		鉄筋・多能工	28年2月1日～3月24日	15名程度			
建設産業専門団体中部地区連合会内	愛知県(中部技術事務所等)	建設業基本技能コース	28年1月18日～1月29日	10名程度			
近畿	(一社)兵庫県建設業協会内	兵庫県(三田建設技術研修センター)	躯体系技能者(型枠・鉄筋、とび土工)	27年10月8日～12月25日	15名程度		
			躯体系技能者(型枠・鉄筋、とび土工)	28年2月15日～3月18日	10名程度		
			躯体系技能者(型枠・鉄筋、とび土工)	27年10月8日～12月25日	15名程度		
四国	(一社)高知県建設業協会	高知県(建設業協会)	土木系技能者講習	27年12月24日～1月28日	10名程度		
			土木系技能者講習				
九州沖縄	(一社)福岡県建設業協会内	福岡県	躯体系技能者	28年3月開講予定	10名程度		
			躯体系技能者(鉄筋)	27年11月16日～1月15日	15名程度		
	長崎県建設業協会内	長崎県(長崎県建設技術研究センター)	躯体系技能者(鉄筋)	28年2月1日～3月31日	15名程度		
			躯体系技能者(鉄筋)	27年11月5日～12月11日	10名程度		
	(一社)宮崎県建設業協会内	宮崎県(宮崎県技能検定センター等)	躯体系技能者(とび・型枠・鉄筋)	27年11月5日～12月11日	10名程度		
			仕上系技能者(内装)	〃	5名程度		
	(一社)沖縄県産業開発青年協会内	沖縄県(沖縄県産業開発青年協会)	躯体系技能者(型枠・鉄筋、足場)	27年9月24日～12月28日	40名程度		
			躯体系技能者(型枠・鉄筋、足場)	28年1月5日～3月25日	20名程度		
	躯体系技能者(型枠・鉄筋、足場)	28年1月5日～3月25日	20名程度				
	設備系技能者(管工事、弱電工事、給排水衛生工事)	28年1月5日～3月25日	20名程度				

※躯体とは、建物や土木構造物の基礎や骨組みのこと
※各拠点における対象職種、職業訓練期間、人数は、1月6日時点

計678名程度
(調整中は含まない)

建設労働者緊急育成支援事業 開催・応募状況

経営基盤整備支援センター
緊急育成支援推進室

●中央・地方拠点(全17拠点)

拠点	主な訓練拠地	対象職種	募集中のコース		募集を終了したコース		申込状況	受講状況
			職業訓練期間	人数	職業訓練期間	人数		
中央拠点	(一財)建設業振興基金	(富士教育訓練センター)	重機オペレーター	27年11月5日～11月20日	12名程度	27年11月24日～12月9日	12名	11名
			重機オペレーター	27年11月24日～12月9日	12名程度	27年12月6日～12月19日	12名	10名
			重機オペレーター	27年12月6日～12月19日	12名程度	28年1月14日～1月29日	12名	12名
			重機オペレーター	28年1月14日～1月29日	12名程度	28年1月26日～2月9日	12名程度	11名
			躯体系技能者(建築)	28年1月14日～1月29日	12名程度	28年3月9日～3月25日	12名程度	6名
			躯体系技能者(鉄筋)	27年11月24日～12月9日	12名程度	28年3月9日～3月25日	12名程度	9名
			土木系技能者	28年3月9日～3月25日	12名程度	27年12月6日～12月19日	6名程度	6名
			仕上系技能者(内装)	28年1月14日～1月29日	6名程度	28年1月14日～1月29日	6名程度	4名
			仕上系技能者(内装)	28年2月1日～2月16日	15名程度	28年2月1日～2月16日	15名程度	1名
			千歳県(ポリテクセンター等)	仕上系技能者(内装)	28年3月2日～3月18日	15名程度		
北海道	(一社)北海道建設業協会内	北海道	躯体系技能者	調整中				
東北	(一財)みやぎ建設総合センター内	宮城県(ポリテクセンター等)	躯体系技能者(建築・土木)	28年1月12日～1月30日	10名程度		5名	
			躯体系技能者(建築・土木)	28年2月1日～2月20日	10名程度		2名	
			躯体系技能者(建築・土木)	28年3月頃～(1週開程度)	100名程度			
関東	全国基礎工業協同組合連合会内	東京都(連合会館等)	基礎抗作業員	27年11月11日～11月19日	10名程度		3名	
			杭打ち機オペレーター(3t未満)	27年11月11日～11月19日	10名程度		3名	
			杭打ち機オペレーター(3t未満+5t以上)	27年11月11日～11月28日	10名程度		8名	
			基礎抗作業員	28年3月19日～3月31日	10名程度			
			杭打ち機オペレーター(3t未満)	28年2月1日～2月5日 及び 28年3月19日～3月27日	4名程度			
	(一社)東京郡中小建設業協会内	東京都(郡中連等)	建設工事基礎	27年11月30日～12月16日	15名程度	27年11月30日～12月16日	16名	16名
			建設工事基礎	28年3月15日～3月28日	15名程度			
	(一社)神奈川県建設業協会内	神奈川県(建設業協会等)	躯体系技能者(型枠・鉄筋)	27年11月9日～12月1日	15名程度		5名	
	(一社)全国クレーン建設業協会 神奈川支部内	神奈川県(教育センター等)	クレーンオペレーター(ビギナー/マスター)	27年10月1日～11月20日	10名程度		11名	
			クレーンオペレーター(ビギナー)	28年2月3日～3月13日	24名程度		24名	
(一社)日本基礎建設協会 / (一社)日本機械土工協内	静岡県(静岡県建設学校)	建設機械オペレーター(土工)	27年11月2日～12月24日	15名程度		21名		
		建設機械オペレーター(土工)	28年2月1日～3月24日	15名程度		20名		
建設産業専門団体関東地区連合会内	静岡県(静岡県建設学校)	躯体系技能者(とび土工)	27年11月2日～12月24日	15名程度		8名		
		仕上系技能者	調整中	15名程度		8名		
建設産業専門団体中部地区連合会内	愛知県(中部技術事務所等)	建設業基本技能コース	28年1月18日～1月29日	10名程度		2名		
近畿	(一社)兵庫県建設業協会内	兵庫県(三田建設技術研修センター)	躯体系技能者(型枠・鉄筋、とび土工)	27年10月8日～12月25日	15名程度		6名	
			躯体系技能者(型枠・鉄筋、とび土工)	28年2月15日～3月18日	10名程度		5名	
			躯体系技能者(型枠・鉄筋、とび土工)	27年10月8日～12月25日	15名程度		1名	
四国	(一社)高知県建設業協会	高知県(建設業協会)	土木系技能者講習	27年12月24日～1月28日	10名程度		19名	
			土木系技能者講習					
九州沖縄	(一社)福岡県建設業協会内	福岡県	躯体系技能者	28年1月以降調整中	10名程度			
			躯体系技能者(鉄筋)	27年11月16日～1月15日	15名程度		4名	
	長崎県建設業協会内	長崎県(長崎県建設技術研究センター)	躯体系技能者(鉄筋)	28年2月1日～3月31日	15名程度		6名	
			躯体系技能者(鉄筋)	27年11月5日～12月11日	10名程度		2名	
	(一社)宮崎県建設業協会内	宮崎県(宮崎県技能検定センター等)	躯体系技能者(とび・型枠・鉄筋)	27年11月5日～12月11日	10名程度		2名	
			仕上系技能者(内装)	〃	5名程度		6名	
(一社)沖縄県産業開発青年協会内	沖縄県(沖縄県産業開発青年協会)	躯体系技能者(型枠・鉄筋、足場)	27年9月24日～12月28日	40名程度		35名		
		躯体系技能者(型枠・鉄筋、足場)	28年1月5日～3月25日	20名程度		8名		
設備系技能者(管工事、弱電工事、給排水衛生工事)	28年1月5日～3月25日	20名程度						

※躯体とは、建物や土木構造物の基礎や骨組みのこと
※各拠点における対象職種、職業訓練期間、人数は、12月18日時点

計639名程度
(調整中は含まない)

受講申込書

必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。
インターネットでも受け付けています。申込締切は平成28年1月25日(月)です。

FAXでのお申し込み

一般財団法人建設業振興基金 担当者：野口 FAX. 03(6231)7251

インターネットからのお申し込み

一般財団法人建設業振興基金ホームページ <http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/>

コース名	訓練期間	定員
鉄筋・多能工コース	平成28年2月1日(月)～3月24日(木)	15名

記入日 平成28年 月 日

フリガナ		性別	生年月日
氏名		男・女	昭和 平成 年 月 日(歳)
現住所	〒 -	電話番号	
		自宅	()
		携帯	()
対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 学校を卒業後、就職をしたことがない方 <input checked="" type="checkbox"/> 離職して建設業を希望する方		雇用保険 受給の有無
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設業への転職を希望する方 <input checked="" type="checkbox"/> 定時制高等学校の生徒		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
公共 職業訓練の 受講歴	平成 年 月 日～ 年 月 日	訓練施設名	

※職業訓練中に雇用保険を受給されている方は、申し込み前にハローワークにご確認ください。
※印した個人情報は当基金で管理し、訓練後の管理、職業案内等の送付のみに使用し、他の機関(他局等)からの提示受領の機会を除き、決して第三者に提供いたしません。
※求職者・求人者のそれぞれの条件により、就職に至らないこともあります。

お問い合わせ・お申し込み先

〒110-0015 東京都台東区東上野5-1-8 上野富士ビル9階(建設産業専門団体関東地区連合会内)

一般財団法人建設業振興基金
担当者：野口

TEL・FAX共通 03(6231)7251

建設産業専門団体関東地区連合会会員

- | | | |
|---|--|--|
| 関東建設業協同組合
一般社団法人全国クレーン建設協会関東支部
ダイアモンド工業協同組合関東・甲信支部
一般社団法人全国建築工務協会関東支部
関東マシテック事業協同組合
一般社団法人日本基礎建設協会関東支部
一般社団法人日本型枠工事協会千葉支部
一般社団法人日本造業協会関東支部 東京ブロック会 | 東京都管工事業協同組合連合会
一般社団法人全国建設室内工事業協会関東支部
一般社団法人全国タイル業協会関東支部
一般社団法人全国造幣・標示業協会関東支部
一般社団法人日本アンカー協会関東支部
関東建設インテリア事業協同組合
関東平屋造板金工事組合連合会
一般社団法人日本造業協会関東甲信支部 | 東日本基礎工務協同組合
一般社団法人全国コンクリート造事業団体連合会関東地区連合会
関東鉄筋工事業団体連合会
一般社団法人全国防水工事協会関東・甲信支部
一般社団法人日本機械土工協会関東支部
東京建設産物工業協同組合
一般社団法人日本左官業協会連合会関東ブロック会
一般社団法人日本建築工務協会関東ブロック |
|---|--|--|

厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業

キミの力を待っている!

あしたをつくる「建設業」一緒にはたらく仲間になろう。

鉄筋・多能工コース

平成28年2月1日 募集期間 平成27年12月25日～平成28年1月25日
職業訓練スタート 訓練期間 平成28年2月1日～3月24日

仕事で使える技能・資格取得～就職をサポートします

鉄筋は、人間の体でいえば「筋肉」や「骨格」にあたります。
すべての建造物の基礎を支えている重要な役割です。
ぜひ、一緒に働く仲間になりませんか。

すべて
無料!

職業訓練
費用

宿泊・
交通費

資格
取得費

※訓練会館中の食事代、通学の場合の交通費は自己負担となります。

まずはお気軽にお問い合わせください!! (受付時間9:00～17:00/土日祝日を除く)

▶ 建設労働者緊急育成支援事業のことなら代表窓口へ

一般財団法人建設業振興基金(担当:井上、由井、菊池、山下)

TEL.03(5473)4589

▶ 鉄筋・多能工コースのことなら地方拠点窓口へ

建設産業専門団体関東地区連合会内
一般財団法人建設業振興基金(担当:野口)

TEL.03(6231)7251

鉄筋工事って こんなしごと!

安心・安全な「生活空間」を
組み立てます。

建設業のしごとには、ビルやマンション、学校などを建てる建築工事と、道路や橋、トンネルなど、私たちの生活に必要な施設をつくる土木工事があります。「鉄筋」は、こうした建造物のほとんどに、組み込まれています。建造物の大きな重量を支え、外からの衝撃を吸収する。鉄筋の役割は人のカラダでいえば、まさに「筋肉」であり「骨格」にあたります。カタチに残る建設業のしごとの中でも、鉄筋工事は最も基本であり、重要な役割を担っています。

鉄筋工事のしごと

加工



現場へ行く前に、鉄筋を図面に沿った長さに切断、さまざまな形に曲げて加工します。

組立



現場では図面を見ながら、順序通りに配筋していきます。

職業訓練（鉄筋コース）のあと

就職先を紹介。経験を積み、技能も収入もアップ

職業訓練で基礎技術を身に付け、必要となる資格を取得。訓練終了後には就職先も紹介します。経験と実績を重ねれば、技能が向上し、現場での立場も上がっていきます。責任も大きくなりますが、仕事のやりがいや皆さんの生活を支える収入のアップも期待できます。

標準的な 就業年数	入職後～7年		入職後 7年～12年	入職後 12年～17年	
年齢	18歳	20歳	25歳	30歳	35歳
職業	新設学生 若年中途 入職者	鉄筋職 基礎的技術の 習得に努める	若手 現場を指導・管理、 自らも第一線で 活躍	グループリーダー 職員の現場を 指導・管理、 自らも第一線で 活躍	

鉄筋工事の 魅力って 先輩の声を 聞いてみよう



佐々木 健輝
入職 9 年目
矢島鉄筋工業(株)
東京町葛田区

努力すれば認められる世界

鉄筋工事は、人間の体でいえば「骨」のようなものです。これがないと建物が倒壊したり建造物の強度が保てなかったりしてしまうため大切な存在です。この仕事に就いて 9 年目ですが、3 年前に職長になりました。現場を仕切る立場で、現場での作業だけでなく、材料を選択したり、加工場への発注を担当します。他の職人さんが作業しやすいように、現場の役割をつけることも行います。

仕事を覚えると楽しさもわかる

入社 3 年目に 2 級鉄筋施工技能士の資格を取得しました。普段から現場でやっていたことを実践すれば、おのずと資格は取れると思います。1 級技能士についても、会社の先輩のアドバイスが力になり、1 年目で取得できました。今後は登録基準技能者にも挑戦します。若い人には、仕事がつらくとも、すぐに辞めないでほしいですね。少なくとも 2～3 年は続けたいと判断してもらいたいです。私自身も何度も辞めたいと考えましたが、2～3 年経つと仕事を覚え、その楽しさもわかってきます。



一般財団法人建設業振興基金ホームページより

訓練終了

就職先を紹介

鉄筋・多能工コース 募集のあらし

訓練内容 >> じっくり学べる合宿方式

訓練期間	平成28年2月1日(月)～平成28年3月24日(木) 43日間(※日曜および第2・4土曜日を除く。)
訓練時間	8時00分～17時00分
訓練施設	静岡県建設学院(合宿方式) 〒426-0007 静岡県藤枝市堀107-2 TEL. 054-644-2722
実習施設	株式会社扶桑工業(静岡県藤枝市堀内800-15) 日本キャタピラー-中日本支社静岡教育センター(静岡県藤枝市水守2-1-2)
宿泊先	ホテルnanvan(静岡県焼津市越後島360-3、TEL. 054-628-8835) ※マイカー/バスで訓練施設との往復を毎日無料でお送りします。
訓練内容	初心者を対象に、鉄筋工事の基礎となる組み方、専用工具類の使用法、鉄筋の結束の練習、足場の組立、各種重機の資格などを学びます。
カリキュラム	鉄筋の基礎・実習、溶接、クレーン、車両系建設機械運転、労働安全衛生法など
取得 できる 資格	■技能講習 ①小型移動式クレーン運転 ②ガス溶接 ③フォークリフト運転 ④車両系建設機械(整地等用)運転 ⑤高所作業車運転 ⑥玉掛け ■特別教育・安全衛生教育 ⑦自由研習用⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ㉠鉄動工具取扱 ㉡別紙取扱 ㉢丸のこ等取扱



定員・費用・申込先 >> 訓練、宿泊、交通費など無料

募集期間	平成27年12月25日(金)～平成28年1月25日(月)
定員	15名(※応募者が6名に満たない場合は他の訓練コースを紹介いたします。)
費用	無料【教材、作業服・安全靴(貸与)、交通費(国鉄日・職業訓練の入校日と修了日 ※ただし、公共交通機関を利用した場合は限る)、傷害保険】
自己負担	食費、通学の場合の交通費・ガソリン代・高速道路料金、資格取得にかかる証明写真・住民票交付の費用
対象者	①無職者 ②新卒者 ③木曜前卒業者 ④定時制高校の生徒等 ※注 業種別訓練中・雇用保険を受給されている方は事前にハローワークにご相談ください。また、応募前にできる限りハローワークに就職登録をお願いします。
申込先	①ホームページから申込 一般財団法人建設業振興基金 (http://www.kansatsu-kikin.or.jp/kunren/) ②FAXまたは郵送で申込 建設業専門団体関東地区連合会 一般財団法人建設業振興基金 (FAX: 03-6231-7261)

申込から訓練まで >> 試験なし、面談の交通費は支給

1 申込	・ホームページから申し込んでください。 ・裏面の申請申込書でもお申し込みいただけます。
2 面談	・お申し込みいただいた方には、東京での面談の参加をお願いします。 ・面談では試験などはありません。 ・受講や就職の意向を確認させていただきます。 ・訓練内容や訓練施設、連絡事項などをご説明します。 ・面談に要した交通費は後日、精算払いとします。(※ただし、公共交通機関を利用した場合に限る)
3 訓練開始	いよいよ職業訓練のスタートです! 資格を取得し、就職へ!!



東京都台東区東上野5-1-8
上野富士ビル9階(建設業専門団体関東地区連合会内)
一般財団法人建設業振興基金

専門工事業の処遇改善策について……資料4

専門工事業者による技能労働者の処遇改善

技能労働者の処遇改善については、発注者と元請に理解してもらうことが不可欠であることは説明した。

多くの受注を得ることによって、利潤を上げて給与に反映させるとともに、適正な契約によって休暇の取れる工期を確保していくことが技能労働者の処遇改善に最も資することであることは言うまでもないが、そういった経営努力とは違う側面から「専門工事業者ができる」処遇改善を夢協として考えていきたい。

このため、夢協では、各加盟団体の現状の取組状況を踏まえ、技能労働者の処遇改善のために団体ができること、企業としてできることについて、現状を把握した上で何が出来るか検討していくことにしている。

以下、取り急ぎ、関東建専連の理事企業に対して、現状実施しているもので技能労働者の処遇改善につながる活動について聞いて整理してみた。

関東建専連加盟の主な企業の取組状況について

○技能労働者のスキルアップ、資格取得を評価する。

- ・個人、部門、施工グループごとの評価(賞与、褒賞など)
- ・能力評価を行い、昇級に反映させる。
- ・大臣認定資格などの資格取得者に手当の支給、昇級

○技能労働者への教育訓練

- ・新入社員研修
- ・キャリアデザイン研修など
- ・社外講師を招いての講習会等の実施
- ・熟練者によるOJT講習

●賃金水準の改善に結びつく活動等

- ・日給月給制から月給制への移行
- ・得意先との積極的な交流の促進

●福利厚生・社内環境等の充実(女性が活躍できる環境整備)

- ・4週6休に向けた取組
- ・独身寮等居住空間の確保
- ・社内、現場の施設の充実(トイレ、更衣室など)
- ・社内行事の実施(レクリエーション、新年会など)
- ・従業員の家族に配慮した行事(家族参加型行事、奥様に花を贈るなど)

まず、夢協として取り組むもの(案)

◎日給月給制から月給制へ

◎社内行事等の推進・充実 (女性も活躍できる環境整備)

○社内環境等の充実 (女性も活躍できる環境整備)

日給月給制から月給制への移行(技能労働者の社員化も含む)

(建設産業を巡る環境の変化)

- 日建連による「建設業の長期ビジョン」→重層下請構造の改善のため、下請を原則2次以内(設備は3次まで)
- 社会保険未加入対策→平成29年度までに許可業者の加入率100%
- 行き過ぎた重層化の回避のため、本年度に国土交通省が実態調査を実施
- 基礎ぐい工事問題に関する検討委員会による中間とりまとめ報告→「元請・下請の施工体制上の責任・役割の明確化と重層構造の改善」→施工に携わらない企業の排除へ

○関東建専連内の各団体において、月給制へ移行している企業、技能労働者の社員化を進めている企業に対して、調査を行うとともに月給制への移行等を進めるにはどうしたらよいか等について検討していく。(案)

(調査内容)

- ・月給制への移行、社員化を進めることとした契機
- ・それら実施に当たった課題整理(企業側の課題、職人側の課題)
- ・成功事例の共有、月給制への移行推進の検討 など

社内行事等の推進・充実(女性も活躍できる環境整備も含む)

(建設産業を巡る環境の変化)

- 国土交通省の建設産業活性化会議→直轄工事で週休2日制のモデル工事の実施、官民で4週8休の実施を目指す
- // →直轄工事で男女別のトイレ、更衣室等の設置を展開(積算上で配慮)
- 官民挙げた行動計画→女性の更なる活躍の推進

○各企業で実施している社内行事、社内環境などの充実により、職人等の仕事へのモチベーションを高めることができれば、広い意味で処遇改善に資するものと考えられる。このため、こういった取組を進めている企業の実態を把握し、団体としてできることも含めて、職人等のモチベーションを高めるにはどうしたらよいか等の検討を行っていく。(案)

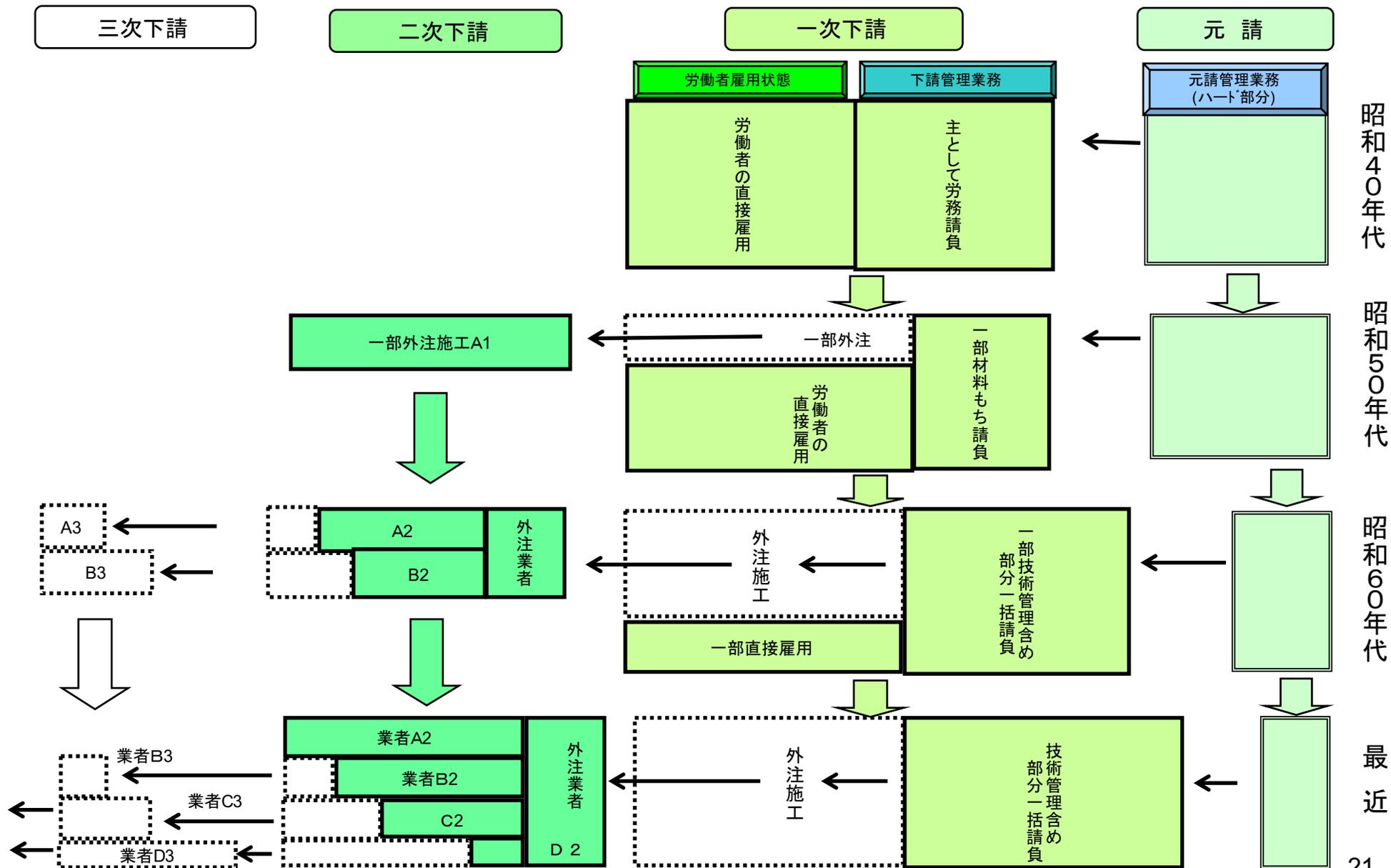
(4週6休、居住空間の確保等施設の充実については、発注者や元請の協力が必要となるところであり、専門工事業者自らが取り組み難いとする。)

(調査内容)

- ・職人等に評判の社内行事、職人等で作っているサークルについてどのような取組があるのか、どのような行事ならやりたいと思うのかなど調査
- ・それら実施に当たった課題を整理
- ・成功事例の共有、普及・推進していくための検討

《参考》元請企業・下請企業の関係の変化(概念図)

- 元下関係は、直用から専属的下請に分離し、さらに一般的下請全般に拡大しました。
- 時期別に下請は二次・三次の下請へと重層化しました。
- 施工の効率化、建設技能労働者の雇用化を進めることによって、「昭和50年代の関係」を目指すべきではないか



若者合宿・職長講習会の検討状況について……資料5

①夢協 若者合宿について

入職促進活動を展開しても、入職後数年で退職してしまっは元も子もない。若年者労働者の処遇改善等による入職促進だけでなく、「定着促進」も同時に進めていく必要がある。

数年で退職してしまう理由としては、①給与が安い、②休暇が少ないという点が最も多い理由であるが、入職しても若年者一人だけ、上司は高齢者で話しにくいなど、若年者どおしの横のつながりが無いことも大きな理由となっているようである。このため、職種の壁を越えて若年者の横のつながりを構築し、連帯感を高めていこうとする企画である。

既に実施している中部地方整備局の取組みを参考としながら、夢協でできることを実施していく。

【対象者】 概ね30歳以下とする。(ただし、参加者が少ない場合は対象を広げることもあり得る)
建設業界に入職してから概ね1～3年目の者、職業訓練中の期間雇用者など

【募集人員】 40名

【開催時期】 平成28年6月第1～2週

【開催場所】 関東地方整備局(さいたま市)を想定

【講義内容】 1日目(座学) 2日目(現場研修)

《1日目座学》…講話を聞き、建設業における理解、現状を知識を深めると共に、若者同士によるコミュニケーションの場を設け

若者の視点から現場の問題点を検討する。

- ・講話 関東建専連 幹部
- ・自己紹介
- ・建設業で働く若者を取り巻く状況(関東地方整備局 幹部)
- ・グループ討議 テーマについて討議を行いグループ毎に発表する。
(テーマ例) ・職場・現場におけるコミュニケーション
・ベテラン技能労働者とのジェネレーションギャップ
・職業訓練・研修体制のあり方
・職長等からの技術の伝承について
講話

《2日目 現場研修》…土木・建築と異なる現場を視察することで、建設現場における視野を広げると共に、建設業の重要性についての認識を深める。

- 1) 土木の現場・建築の現場を選定して現場研修を行う。
- 2) 若者合宿についての意見・感想を作成
- 3) 終了

夢協若者合宿に関する意向調査

(4) 夢協若者合宿に関する意向調査

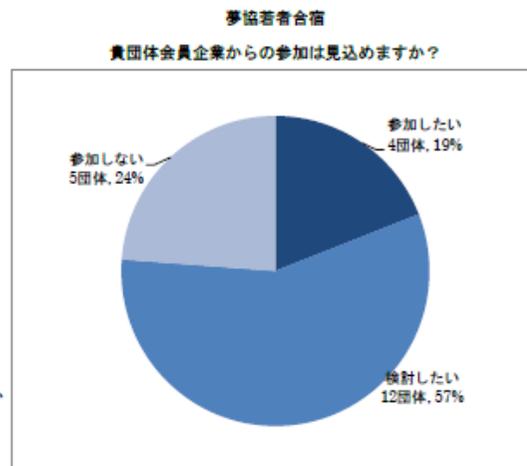
— 4分の3が「参加したい」「検討したい」 —

関東地域での「夢協若者合宿」の開催を検討するに当たり、建設産業専門団体関東地区連合会の会員団体への意向調査を行った。

調査結果によると、夢協若者合宿を開催した場合に参加が見込めるかどうかを聞いた質問では、「参加したい」が全体の19%（4団体）となり、「検討したい」の57%（12団体）と合わせ、回答した団体の4分の3が前向きな回答となった。

開催希望月は、4月～6月が最も多く、次いで1月～3月が多い。

開催曜日については、土曜日、日曜日、金曜日の順。ただし、「（首都圏かどうかなど）地域によって差がある」「参加しやすいのは週末だが、若年層の気持ちを考えると平日に行くべき」といった意見もあった。



アンケート結果の概要は次の通り。

①調査対象

建設産業専門団体関東地区連合会の会員団体

②調査期間

2015年12月28日～2016年1月13日

③調査方法

発送/FAX 回収/FAX

④回答数

21団体

※調査は「夢協（若者合宿、親方講習会、出前講座）に関する意向調査」として実施した。出前講座の結果は前述、親方講習会の結果は後述。

■若者合宿を開催した場合、貴団体会員企業からの参加は見込めますか（団体数、以下同じ）

参加したい	検討したい	参加しない
4	12	5

■若者合宿に参加しやすい時期はいつですか（複数回答）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
9	8	9	3	1	1
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	0	0	2	3	4

■若者合宿に参加しやすい曜日はいつですか（複数回答）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
2	0	0	1	5	13	11

②夢協 職長講習会について

「定着促進」については、若年者だけでなく、現場で若年者を指導する立場の職長や熟練技能者にも若年者の気持ちに寄り添えるように若年者がどう考えているか等についての講習会を開催する必要がある。

職長が若年者であった時代は、厳しい徒弟関係にあることが普通であり、技能は見て覚えろと言われる中、技能の習熟に努めてこられたところである。ところが、今の若年者は、そういった環境は経験が無いため、指導方法のミスマッチが相当あるものと考えられるため、企画したものである。

【開催時期・時間】 平成28年7月第1週 13:00～17:00(多忙な職長等を半日以上拘束することは難しいのではないかと考える)

【開催場所】 関東地方整備局(さいたま市)を想定

【対象者】 職長又は現場の管理業務を行っている者

【人数】 40人程度

【目的】

若者との係わり方について、講義を受けるとともに職長間で日頃の悩み・苦労していることを話し合い、今後の仕事に活用する。

【講習内容】

- ・講話 関東建専連幹部
- ・自己紹介
- ・講話 未定
- ・講義 未定
- ・グループ討議(研修企業 講師)
若者との係わり方について問題点・課題の洗い出し
- ・若者とのコミュニケーション
- ・職場の雰囲気作り
- ・技術の伝承・伝え方
- ・ジェネレーションギャップ
- ・若者の相談相手になるために
問題点・課題について講師を交え意見交換
※問題点・課題については、各自事前に提出してもらう

【アンケート】

夢協親方講習会に関する意向調査

(5) 夢協親方講習会に関する意向調査

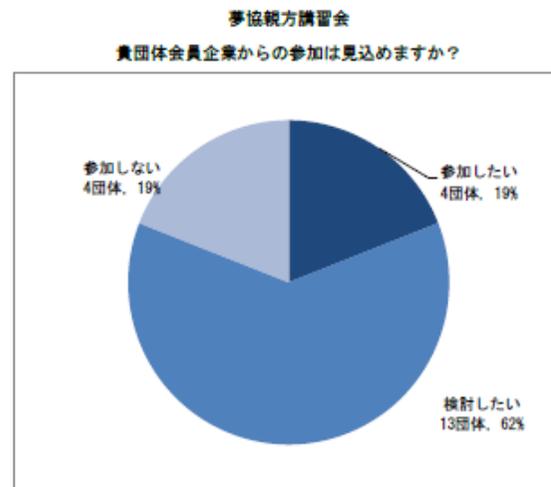
－ 8割が「参加したい」「検討したい」 －

夢協では、こうした職場でのコミュニケーションの改善、良好な雰囲気づくりなどを後押ししていくため、若者の指導的な役割を担う技能者らを対象に「夢協親方講習会」を開催する予定。内容や日程などの検討の参考とするため、建設産業専門団体関東地区連合会の会員団体への意向調査を行った。

調査結果によると、夢協親方講習会に「参加したい」と答えた回答は全体の19%（4団体）、「検討したい」が62%（13団体）となり、全体の8割が前向きな回答を寄せた。

開催希望の時期は、6月が最も多く、これに4月～5月、1月～3月などが続いている。

開催曜日については、前述の若者合宿と同様に、土曜日、日曜日、金曜日の順に希望団体数が多かった。



アンケート結果の概要は次の通り。

①調査対象

建設産業専門団体関東地区連合会の会員団体

②調査期間

2015年12月28日～2016年1月13日

③調査方法

発送/FAX 回収/FAX

④回答数

21団体

※調査は「夢協（若者合宿、親方講習会、出前講座）に関する意向調査」として実施した。出前講座、若者合宿の結果は前述。

■親方講習会を開催した場合、貴団体からの参加は見込めますか（団体数、以下同じ）

参加したい	検討したい	参加しない
4	13	4

■親方講習会に参加しやすい時期はいつですか（複数回答）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
9	9	11	4	2	2
10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	0	0	3	3	4

■親方講習会に参加しやすい曜日はいつですか（複数回答）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
1	0	0	0	4	12	10

キャリアプランの提示(機械土工編)……資料6

③キャリアプランについて(機械土工)

若年者は、就職するに当たり、自分の生涯設計を想定していることが多いことから、入職何年目で給与がいくらぐらいで、どれ位の地位に就いていると想定できるようなキャリアアップのプランについて、あらかじめ示しておく必要がある。それを達成するには資格取得などのハードルもあるわけであり、結婚して家族を持つことも想定するものであり、そういったことがイメージできるようにしておくことは、入職促進にも定着促進にも必要である。

今回は、「機械土工」の職種について別添のとおり作成してみた。専門工事業でも比較的規模の大きい企業と小さい企業に分け、年収については、中小規模では、おおまかな目標とし、大中規模では、レンジを記載してみた。目標とすべき地位については、役員としてみた。

専門工事業者にとって、このキャリアプランをハローワーク等に提示するということは、経営上厳しい点はあるが、若年者の生涯を受け止めるためには避けて通ることはできず、他の産業でも作成しているものである。

なお、別添のキャリアプランを埼玉労働局にお見せして、他産業が作成しているキャリアプランと比較してみてどうなのか聞いてみたところ、そんなにかげ離れているものではないということであった。

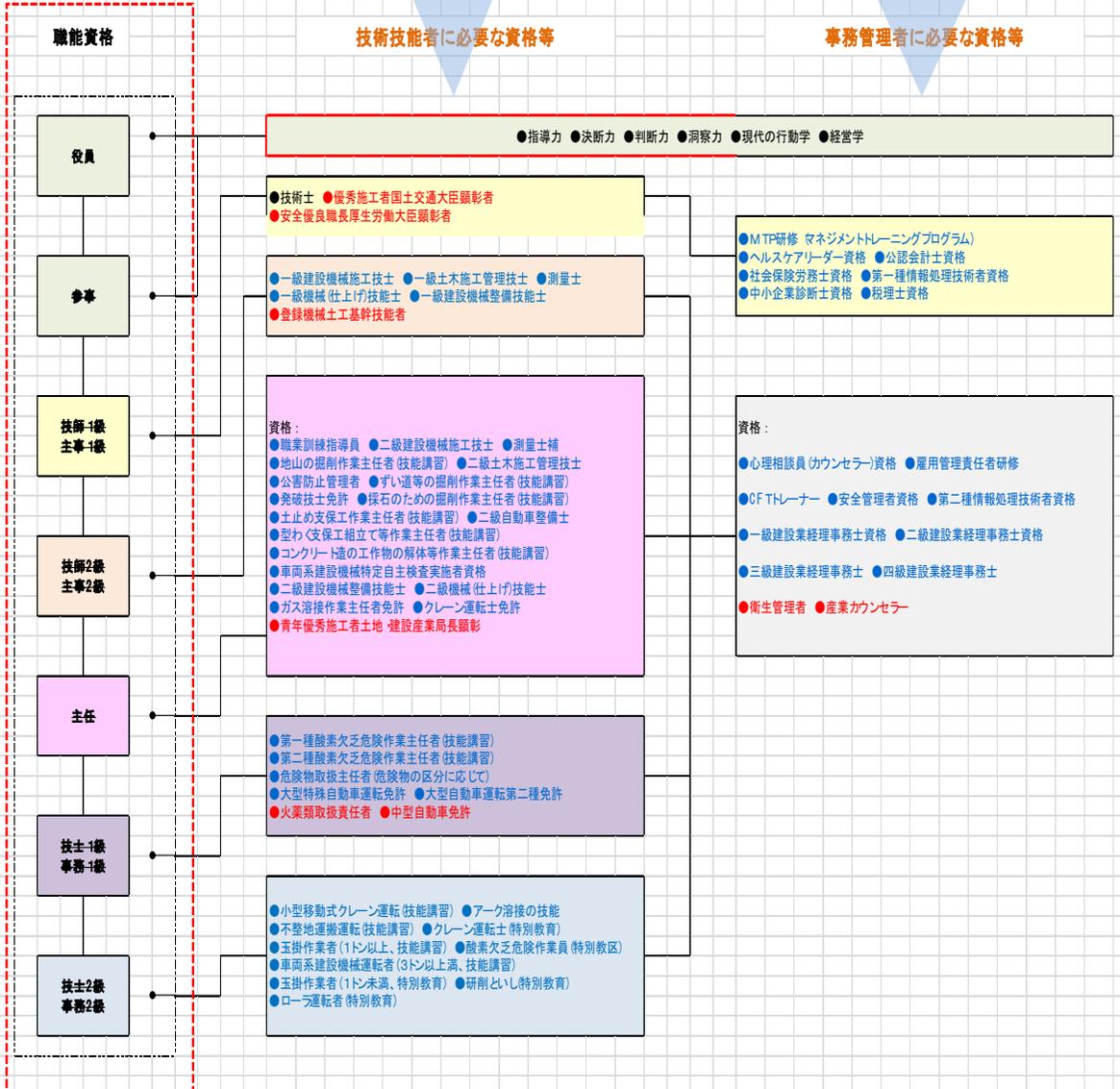
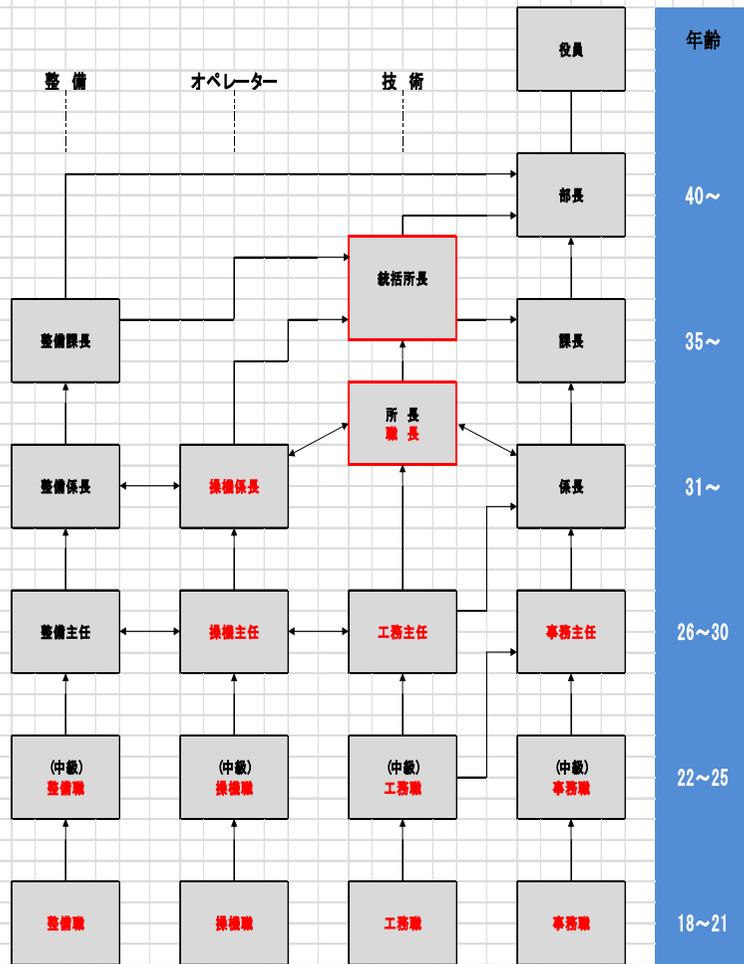
今回は、機械土工という職種であったために、他産業と比べて遜色ないものであったのかもしれないが、他の建築関係職種のキャリアプランを作成した場合、同様に他産業と遜色ないものを作れるかどうか今後の課題。

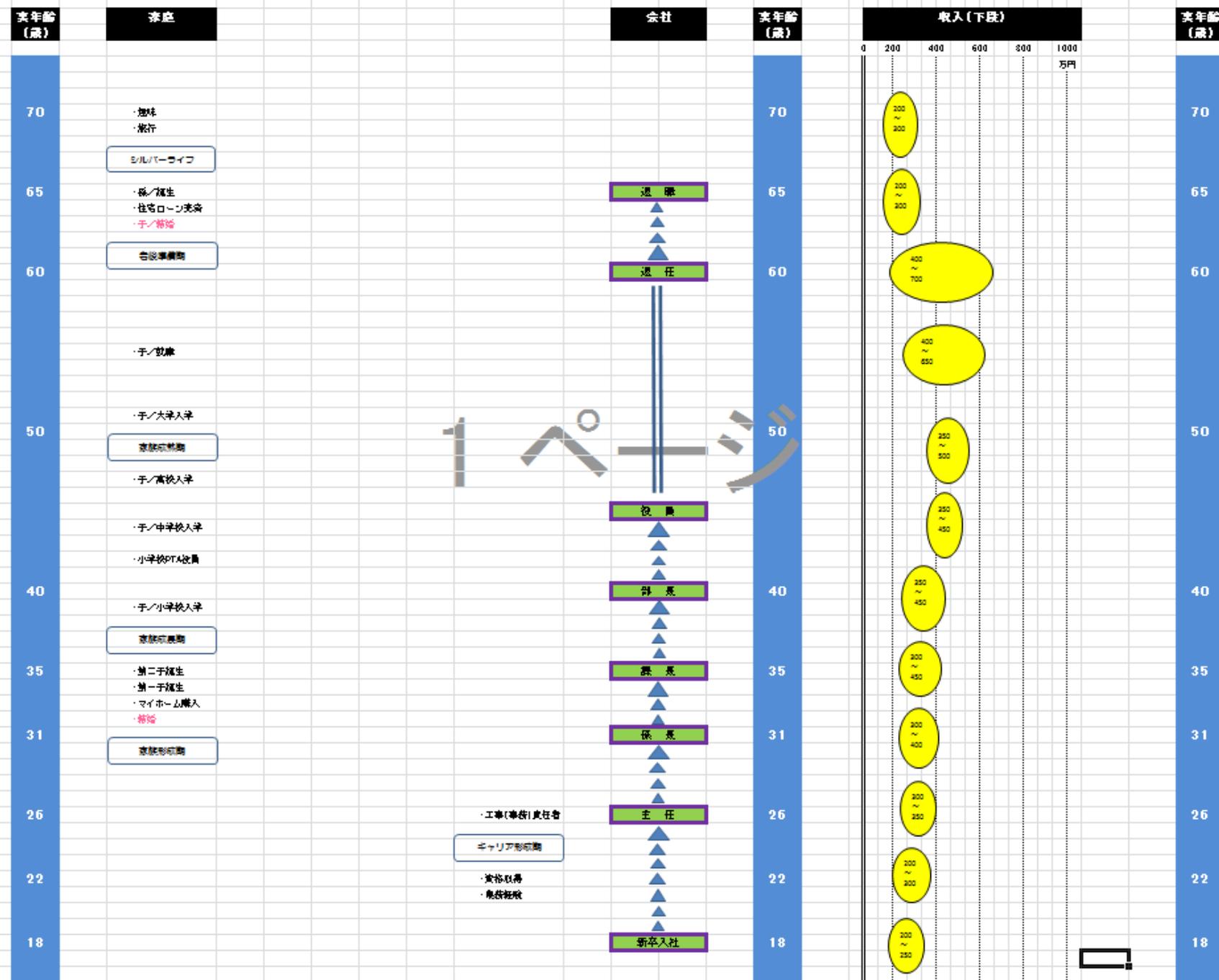
キャリアプラン

この下の職種別の系統については、各社独自の制度によると思われますが、赤字で表示した名称が良いのではないかと思います。

この下の職能資格は、各社独自の制度によると思われますので、特に表示なしで良いと思います。

この下の資格と教育訓練は、見やすいように色分けし区別したほうが良いと思います。





キャリアアップ計画 中～小企業用たたき台 1/18現在【機械土工】

キャリアプラン～将来に夢を描ける業界を目指して～



現場の一日
技能社員
オペレータの一日



8時 業務開始

朝礼参加（ラジオ体操など）とグループKY（危険事項の確認）の実施。持ち場での安全確認から、一日の作業がスタート！



朝 現場に到着

現場詰所で本日の作業配置と作業内容の確認。
KYシートの記入も済ませます。



先輩「昨日のサッカー見ました!？」



食事が終わった後は少し休憩して、先輩達と雑談したり、午後の作業について打合せを行います。

17時 業務終了

持ち場の清掃や後片付け。朝よりもっとキレイにして、次の人たちにバトンタッチ！ そんな毎日の習慣から、強い絆が生み出されます。



15時 休憩

午後



午前



10時 休憩

11:30 工程打合せ

働計画・働工方法についての打合せ。資材の調達や工事進捗に合わせて、手順を調整し、必要に応じて作業段取りを入れ替えるなど、臨機応変な判断が求められます。

13:00 作業開始

午後の作業が始まります。予定していた工程にズレがないかも踏まえ、全体を見ながら現場を管理します。特に昼食後は気が緩みがちなため、安全面への配慮も徹底します。



建設関係認定職業訓練校現状調査・・・(資料7)

(1)目的

建設専門工事業の人材確保を図るため、未就職者などへの職業訓練を行い、業界への就職を促進する。関東の1都8県及び静岡県に設置されている建設関係認定職業訓練校と連携した職業訓練の実施を考えており、本調査では各認定職業訓練校の現状調査を行う。

(2)調査概要

①調査の目的

未就職者などを対象に、建設関連の職業訓練を受けてもらうことで建設業への入職を促す。調査では、訓練の受け入れ先の候補となる関東地区及び静岡県内の認定職業訓練校について、現状の実施科目や定員などを調べた。調査結果は、夢協が認定職業訓練校との連携を検討するための基礎資料とする。

②調査対象

関東1都8県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県）及び静岡県の建設関係認定職業訓練校

対象となる建設関係認定職業訓練校の抽出は

- ・厚生労働省及び10都県の認定職業訓練の担当課からの情報またはホームページの公開情報をもとに最新の認定職業訓練校リストを作成（平成27年10月時点）
- ・同リストから建設関係の科目を実施している訓練校を抽出し、アンケート調査を実施した。

③調査対象数

建設関係認定職業訓練校 アンケート調査校数(校)

茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
12	8	15	14	12

東京都	神奈川県	山梨県	長野県	静岡県
22	9	6	23	21

④調査期間

2015年10月23日～11月13日

⑤調査方法

発送/郵送 回収/FAX

⑥調査項目

【職業訓練校の概要】

▽施設名称 ▽施設設置者

【連絡先】

▽住所 ▽電話番号 ▽FAX番号 ▽担当者 e-mail アドレス ▽担当者名

【訓練内容】

▽課程 ▽訓練科名 ▽訓練期間 ▽訓練対象 ▽定員

※調査対象とした各訓練校に、当該訓練校についての厚生労働省・都県の公表情報（都県からの提供資料を含む）を記載した用紙を送付し、加筆・修正を依頼した

⑦有効回収数

142校中93校、回収率65.5%

※注1

本調査報告書では、調査結果を回収できなかった訓練校については厚生労働省・都県の公表情報（都県からの提供資料を含む）のみを記載した

※注2

本調査報告書では、調査時点で「廃止」（建設関係科目の廃止を含む）と回答があった5校については非掲載とした（「休止」「休講」と回答があった訓練校については掲載）

※注3

本調査報告書では、個人情報保護の観点から、担当者、e-mail アドレスについては非掲載とした

建設関係認定職業訓練校現状調査・・・(資料7)

【東京都】

6-5 職業能力開発短期大学校東京建築カレッジ (職業訓練法人東京土建技術研修センター)

住所	〒170-0014 豊島区池袋1丁目8-5		
電話番号	03-5950-1771	FAX番号	03-5950-1774

■専門課程

訓練科・コース名	訓練期間	訓練対象	定員
居住システム系建築科	2年	高卒	20名

●短期課程

訓練科・コース名	訓練期間	訓練対象	定員
建築科(87コース)、溶接科(3コース)、管理科(1コース)、電気工事科(4コース)		高卒	2,629名

6-6 東京都板金高等職業訓練校(東京都板金工業組合)

住所	〒174-0051 板橋区小豆沢2丁目27-9		
電話番号	03-5915-6333	FAX番号	

●短期課程

訓練科・コース名	訓練期間	訓練対象	定員
建築板金科	2年制		

6-7 東京都板ガラス商工協同組合

住所	〒103-0007 中央区日本橋浜町2-38-9		
電話番号	03-5641-3490	FAX番号	

■普通課程

訓練科・コース名	訓練期間	訓練対象	定員
サッシ・ガラス施工科			

【東京都】

6-14 東京都管工事工業協同組合

住所	〒107-0052 港区赤坂6-15-14 東京都管工事会館		
電話番号	03-3583-7111	FAX番号	

●短期課程

訓練科・コース名	訓練期間	訓練対象	定員
配管(2級、1級)			

6-15 東京都塗装高等技術専門学校(東京都塗装工業協同組合)

住所	〒150-0032 渋谷区鶯谷町19-22		
電話番号	03-3461-8678	FAX番号	03-3461-8724

■普通課程

訓練科・コース名	訓練期間	訓練対象	定員
建築塗装	2年	高卒	各学年50名

6-16 研修センター《東京》(日本ペイント株式会社)

住所	〒140-0004 品川区南品川4-7-16		
電話番号	03-3740-1135	FAX番号	03-3740-1180

●短期課程

訓練科・コース名	訓練期間	訓練対象	定員
建築・外装基礎コース、建築・外装提案力向上コース	各2日		最大48名

※当社販売店(特約店主体)に対する研修。ユーザーも受講するケースがある

※一部抜粋

今後の新たな事業活動について……資料8

①技能労働者の処遇改善について

○要望活動について

- ・民間発注者団体に対しては、平成27年度に訪問した団体以外の団体に新しくコンタクトして、日程調整して訪問していく。また、平成27年度に訪問した団体とは平成29年度以降も引き続き意見交換ができるよう関係の維持に努める。可能な範囲で、平成27年に訪問した団体の支部組織にもアプローチしていきたい。
- ・元請団体に対しては、日建連、全建に対しては引き続き要望活動を行うとともに、専門工事業と各地域で密接な関係のある各都県建設業協会への要望活動を、関東建専連の各都県の支部が展開していく方向で調整していく。

○専門工事業における処遇改善について(再掲)

- ・技能労働者の雇用化・社員化を進めるための調査・検討を行う。
- ・技能労働者のモチベーションを高める社内行事の推進・充実、女性の活躍(雇用状況等)のための調査・検討を行う。

②建設産業の魅力の発信の強化について

- 墨田区を中心として、小中学校への出前講座を実施していく。学校からのオファーがあった場合は、統一的な内容ではなく、オーダーメイドの内容として、学校側の満足度を高める。将来的には、近くの他の区においても実施していきたい。
- 関東建専連加盟団体の各企業において実施している社内行事、家族現場見学会を建設業の魅力の一つとしてPRしていく。
- 関東建専連加盟の団体等が実施している現場見学会に協力していく。

③技能労働者が夢や希望を描ける社会の実現

- 若者合宿については、今後具体性を高めていき、来年度に必ず実施する。
- 職長講習会についても、今後具体性を高めていき、来年度に必ず実施する。
※若者合宿、職長講習会については、関東技術事務所と共催していくことも視野に入れていく。
- キャリアプランについては、来年度は他の職種について作成する検討を行う。
- 建設労働者緊急育成支援事業については、平成27年度の実績を確実に就職先まで結びつけさせ、平成28年度の着手準備を適切に進めていく。

今後のスケジュールについて……資料9

- 平成28年 3月
 - ・出前講座(神奈川県立磯子工業高校)
 - ・社内行事の推進、女性の活躍、家族現場見学会の調査・検討
- 平成28年 6月
 - ・若者合宿実施
- 平成28年 7月
 - ・職長講習会実施
- 平成28年 8月
 - ・第三回夢協開催
- 平成28年 9月～12月
 - ・民間発注者団体・元請団体に対する要望活動
- 平成29年 2月
 - ・第四回夢協開催